

自己評価資料様式

自己評価資料

年 月 日

立 高等学校長 様

学校名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

1 これまでの自分の体験や自己PRについて

2 高等学校入学後に取り組んでみたいこと

3 高等学校設定項目

各学校で設定することを想定

新入学者選抜方法における調査書様式

(様式1) 令和〇年度入学志願者調査書

(様式2) 成績等の記録通知書

第3学年	組	番	生徒氏名	志願先	高等学校	受験番号					
性別	生年月日	平成	年 月 日	卒業年月	平成	年 月 卒業					
学習の記録	評定	教科名	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語
		1年									
		2年									
		3年									
										合計	

※特別支援学級等に在籍する生徒で、評定を記述形式で記入している場合等に記載する。

令和〇年度埼玉県公立高等学校入学選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日 学校名 \_\_\_\_\_

校長氏名 \_\_\_\_\_ 印

記入責任者 氏 名 \_\_\_\_\_

\*様式1として利用するときは、「成績等の記録通知書」及び下段の「令和〇年度・・・調査書の内容は、」を \_\_\_\_\_ で消すこと。また、様式2として利用するときは、「令和〇年度入学志願者調査書」を \_\_\_\_\_ で消すこと。

現段階でのイメージです



れいわ ねんど しょうがっこう ねんせい みな じゅけん  
令和5年度の小学校6年生の皆さんが受検する

れいわ ねんど さいたまけんこうりつこうとうがっこう  
令和9年度埼玉県公立高等学校  
にゅうがくしゃせんぱつほうほう か  
入学者選抜方法が変わります

- 1 受検生全員が自己評価資料を提出し、  
受検生全員に面接を実施します。
- 2 調査書の様式が変わります。
- 3 選抜の一部を特色化します。

Q & A

Q なぜ、面接や自己評価資料の提出が必要なのですか。

A 勉強や部活動、委員会活動、学校行事など力を注いだことや努力をしたこと、今後取り組んでいこうとしていることなどは、一人一人違います。そのことを自分の言葉で表現することは、自分の中学校生活を振り返り、自分をみつめ直すきっかけにもなります。また、他の人に伝えることは、自分の考えを整理することにもつながります。

こうとうがっこうにゅうがくしゃせんぱつ じゅけんせい ていしゅつ  
高等学校入学選抜では受検生が提出した自己評価資料に基づき、面接を実施することにより、受検生の意欲や学びに向かう力などを評価します。

Q 人前で話すことが苦手です。面接で不利になるのではと心配です。

A 中学校3年間での自分自身の取組を、自分の言葉で表現してもらいたいと考えています。

Q 自己評価資料は評価してもらえないのですか。

A 自己評価資料は面接を行うときの補助的な資料となります。文章の上手い下手や多い少ない、部活動等で収めた結果や文字の上手い下手は評価に関係ありません。

じどう みな じゅけんせいぜんいん じ こひょうかしりょう ていしゅつ  
児童の皆さんは、これまでどおり、学校内外に関わらず  
じぶん ちようせん ゆめ きぼう  
自分がやりたいことに挑戦し、夢や希望をもって  
がっこうせいかつ おく  
学校生活を送ってください。



## しょうがっこう ねんせい みな 小学校6年生の皆さんへ

皆さんは、クラスの人々と協力して答えを出したり、昨日までできなかったことができるようになったりと、小学校でさまざまな学習を積み重ねてきました。「何を学んだか」だけでなく、「何ができるようになったか」や「どうやって学んだか」ということも大切だということを実感していることでしょう。

これからの社会は、皆さんが想像できないほど大きく変わっていくとされています。そのような社会が変化する中では、皆さんが自分の将来を自分で考え、切り拓いていくことがますます必要になります。皆さんには、学校で学んだことを社会に出てからもいかして、未知の状況にも対応できるような力を、育ててもらいたいと考えています。

中学校入学後は、部活動をはじめ学校内だけではなく地域で活動する機会も増え、一人一人の活動の幅が広がることが予測されます。

皆さんが、将来の夢に近づくために、自分の興味や関心に合わせ、自分の考えて高等学校を選んでもらいたいと考えています。これからも自分がやりたいことに挑戦し、夢や希望をもって中学校生活を送ってください。皆さんの活躍を期待しています。

令和6年1月 埼玉県教育委員会



## 小学校6年生保護者の皆様へ

子供たちは、今、学校で多くの学習をしており、「何を学んだか」だけではなく、「何ができるようになったか」や「どのように学んだか」も今後ますます大切になります。

これからの社会が、どのような世の中になっても、子供たち一人一人が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く将来を実現してほしい、そして、明るい未来を、他者と共につくっていくことのできる人に育ててほしいと考えています。

そのために、子供たちは、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」だけでなく、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会にいかそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育む必要があります。

また、現在、中学校では、これまで学校内を中心として実施してきた部活動を、学校単位から地域単位の取組とすることを視野に入れ、「学校と地域が連携」した地域クラブ活動として活動することを目指しており、今後、子供たちの学校内外の活動がますます多様化することが見込まれます。

さらに、各高等学校が自校の「入学者の受入れに関する方針」を公表し、子供たちが興味・関心を持って主体的に進路選択ができるようにする必要があります。

以上のことから、令和5年度の小学校6年生が受検する埼玉県公立高等学校入学選抜から、新しい入学選抜方法を実施します。保護者の皆様におかれましては、御理解いただきますよう、お願いします。

令和6年1月 埼玉県教育委員会



## 現行の入学選抜方法と新入学選抜方法の比較

	現行の入学選抜	NEW 令和9年度入学選抜
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力検査</li> <li>・調査書</li> <li>・面接または実技検査（一部の学校のみ）を資料として選抜。</li> </ul> 各高等学校は選抜基準を作成し、基準に基づき資料等を点数化し、選抜段階ごとに学力検査・調査書等の資料の得点の比重を変えて選抜。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共通選抜（全校で実施） 学力検査・調査書・面接を資料として選抜。</li> <li>○特色選抜 学力検査・調査書・面接 + 特色検査（実技検査・小論文等）・傾斜配点などを実施することができる。（共通選抜・特色選抜における入学許可候補者の割合は今後検討※）</li> </ul>
学力検査	5教科 （国語・社会・数学・理科・英語） 各100点、計500点満点	5教科 （国語・社会・数学・理科・英語） 各100点、計500点満点
調査書の記載事項	各教科の学習の記録（9教科5段階の評定）、総合的な学習の時間の記録、特別活動等の記録、出欠の記録、その他の各項目等。	各教科の学習の記録（9教科5段階の評定）を基本。
自己評価資料	なし。	学校内外での活動や意欲等を自らの言葉で表現する自己評価資料を、全ての受検生が出願時に提出。
面接	一部の高等学校・学科等で実施。	全ての高等学校・学科等で、自己評価資料に基づき、全ての受検生を対象に実施。
実技検査	一部の高等学校・学科等で実施。	一部の高等学校が、特色選抜において特色検査として実施。
選抜基準	各高等学校が、選抜の資料、調査書の扱い、各資料の配点、第2志望の有無などを、学校・学科・コース等ごとに設定。	（選抜の詳細については今後検討※）

※ 今後、検討される事項については、決定次第、公表いたします。

埼玉県教育委員会ホームページで、詳細について確認することができます。

「入学選抜の改善に関する情報」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyushi-kaizen.html>

